

肝臓の機能障害の状況及び所見

1 肝臓機能障害の重症度

	検査日（第1回）		検査日（第2回）	
	年 月 日		年 月 日	
	状態	点数	状態	点数
肝性脳症	なし・I・II III・IV・V		なし・I・II III・IV・V	
腹水	なし・軽度 中程度以上 概ね 0		なし・軽度 中程度以上 概ね 0	
血清アルブミン値	g/dl		g/dl	
プロトロンビン時間	%		%	
血清総ビリルビン値	mg/dl		mg/dl	

合計点数	点	点
(○で囲む)	5~6点・7~9点・10点以上	5~6点・7~9点・10点以上
肝性脳症又は腹水の項目を含む3項目以上における2点以上の有無	有・無	有・無

注1 90日以上180日以内の間隔をおいて実施した連続する2回の診断・検査結果を記入すること。

注2 点数は、Child-Pugh分類による点数を記入すること。

<Child-Pugh分類>

	1点	2点	3点
肝性脳症	なし	軽度（I・II）	昏睡（III以上）
腹水	なし	軽度	中程度以上
血清アルブミン値	3.5g/dl超	2.8~3.5g/dl	2.8g/dl未満
プロトロンビン時間	70%超	40~70%	40%未満
血清総ビリルビン値	2.0mg/dl未満	2.0~3.0mg/dl	3.0mg/dl超

注3 肝性脳症の昏睡度分類は、犬山シンポジウム（1981年）による。

注4 腹水は、原則として超音波検査、体重の増減、穿刺による排出量を勘案して見込まれる量が概ね10以上を軽度、30以上を中程度以上とするが、小児等の体重が概ね40kg以下の者については、薬剤によるコントロールが可能なものを軽度、薬剤によってコントロールできないものを中程度以上とする。

2 障害の変動に関する因子

	第1回検査	第2回検査
180日以上アルコールを摂取していない	○・×	○・×
改善の可能性のある積極的治療を実施	○・×	○・×

3 肝臓移植

肝臓移植の実施	有・無	実施年月日	年 月 日
抗免疫療法の実施	有・無		

注5 肝臓移植を行った者であって、抗免疫療法を実施している者は、1、2、4の記載は省略可能である。

4 補完的な肝機能診断、症状に影響する病歴、日常生活活動の制限

補完的な肝機能診断	血清総ビリルビン値5.0mg/dl以上			有・無	
	検査日	年	月		日
	血中アンモニア濃度150μg/dl以上				
	検査日	年	月		日
症状に影響する病歴	血小板数50,000/mm ³ 以下			有・無	
	検査日	年	月		日
	原発性肝がん治療の既往				
	確定診断日	年	月		日
日常生活活動の制限	特発性細菌性腹膜炎治療の既往			有・無	
	確定診断日	年	月		日
	胃食道静脈瘤治療の既往				
	確定診断日	年	月		日
現在のB型肝炎又はC型肝炎ウイルスの持続的感染			有・無		
最終確認日	年	月		日	
1日1時間以上の安静臥床を必要とするほど の強い倦怠感及び易疲労感が月7日以上ある				有・無	
1日に2回以上の嘔吐あるいは30分以上の嘔 気が月に7日以上ある				有・無	
有痛性筋けいれんが1日に1回以上ある				有・無	
該当個数				個	
補完的な肝機能診断又は 症状に影響する病歴の有無				有・無	